

## 21.おさんやり

8月16日・箕輪町南小河内・箕輪町無形民俗文化財

榎の木をたてその周りを回る払いの行事。榎の木で船をつくり。最後榎の木を立てその周りを船が回って木を倒し、災厄を払ったとする囃しを伴った送りの行事である。

## 22.百八灯

8月16日・伊那市西箕輪大萱

送り盆行事の一つ、108の煩惱を象徴する火を灯す。

## 23.野口の二夜様・産泰講

◎二夜様:旧暦7月22日(現在は8月22日前後の土、日曜日) ◎産泰講:毎年春と秋の2回・伊那市手良野口

二夜様は二十二夜の月を拝む。産泰様は群馬県前橋市発祥、善光寺の阿弥陀如来を安産の仏とする念仏講。

## 24.大御食神社お練り行列

9月第3日曜(本来は9月21日、22日)・駒ヶ根市大御食神社・駒ヶ根市無形民俗文化財

大規模な行列風流で飯田や平岡満島神社にもある。伊那谷としては最北にある。獅子屋台のお囃子があり、最後に獅子の首切りがある。また行列の中に傘打ちといってすぼめた傘を叩きあう。

## 25.諏訪形の御柱祭と騎馬行列

10月2日(寅・申年10月第1土曜日)・伊那市西春近諏訪形・伊那市無形民俗文化財

諏訪神社の御柱建て行事に大名行列風流の騎馬行列が加わったもの。

## 26.高鳥谷神社の矢納めの神事

10月第1土曜日・駒ヶ根市東伊那・駒ヶ根市無形民俗文化財

東伊那の五つの耕地の長男のみが射ることができる。日置流雪荷派の弓道で神事として厳粛な雰囲気の中執り行われる。

## 27.大草八幡神社の祭りと獅子舞

10月第1土曜日・中川村下平地区

大型屋台獅子。宵に三国一の花火や綱火がある。三河の手筒の花火行事につながる。

## 28.大曾倉の獅子舞と豊年踊り

10月第1土曜日・駒ヶ根市中沢

伊勢大神楽の獅子舞に農作業を模した豊年踊りが加わっている。

## 29.神明神社の天狗と獅子

10月第3日曜日・辰野町北大出・辰野町無形民俗文化財

笹からでてきた四匹の獅子が四人の天狗を退治するという演劇的構成になっている。伊勢系の獅子舞を複雑にしたものか。舟の真ん中の傘ぼこを立てる。

## 30.古田人形芝居

12月第1土曜日・箕輪町上古田・長野県選択無形民俗文化財

箕輪町古田に伝わる人形浄瑠璃。1720年の享保頃にこの地に伝わる。映像には三番叟・朝顔日記・八百屋お七が収められている。

## 別表

# 上伊那の祭りと行事 30選

## 坂本要 解説

日本民俗学の研究家、筑波学院大学教授の坂本要氏の  
「上伊那の祭りと行事30選」の映像の解説です。



## 1.じんがさま 神願様

**1月3日**・伊那市西箕輪羽広 仲仙寺

村境に絞め縄を張る行事で近江勸請縄が有名であるが、全国にわらへび・盆綱・綱引などのワラに関する行事がある。

## 2.かさんぼこ

**1月10日前後**・飯島町日曾利

山梨県の道祖神祭りに酷似している。柱建て行事としては盆の柱松が有名である。ヤナギは下伊那掛け踊りや三河の念仏踊り放下踊りに多くでてくる。1月10日の傘鉾は珍しい。

## 3.ほんだれさま

**1月8～14日**・伊那市手良野口蟹沢

庭門松・小正月の「つくりもの」・道具の年とり等の典型的な例。

## 4.繭玉つくりとどんど焼き

◎繭玉作り:1月13日か14日
◎どんど焼き:1月20日(現在は正月明けに近い日曜日)・伊那市美篤笠原

山梨から長野県に多い。道祖神祭の最後にドンド焼きをする。ドンドはドウソのなまりか。子供の行事で籠り小屋を作るところがある。

## 5.ほんやり(=どんど焼き)

小正月前の休日(以前は1月14日)・飯島町七久保新屋敷

ホンヤリ・ホンヤレは囃しの言葉として多く用いられる。「向こうに送ってやれ」の囃し言葉かと考えられる。

## 6.上塩田のしし追い

**1月15日前後の日曜日**・駒ヶ根市東伊那上塩田

しし追いの棒は小正月の作り物に同じものが多い・地面をたたいて囃している。囃し言葉は鳥追い歌である。小正月に地面を棒でたたく行事は多い。

## 7.羽広の獅子舞

**1月15日に近い日曜日**・伊那市西箕輪 仲仙寺・伊那市無形民俗文化財

伊勢系統の雄獅子・雌獅子の芸能

## 8.あがっと 上戸のでえもんじ

◎1月14日でえもんじ起こし
◎1月20日でえもんじ下るし◎1月20日近くの日曜日どんど焼き・伊那市西箕輪上戸
どんど焼き・風流傘にこのようなサゲモン（吊り下げもの）を下げることもある。祭りの傘ブクには縁起物を吊り下げるが、盆行事では死者の遺品を吊り下げる。吊り下げものは吊り雛に共通する。

## 9.箕輪南宮神社 御筒粥の神事

**1月第3土曜日**(元1月10日から14日となり現行となる)・箕輪町木下

粥占い・神楽が独特である。

## 10.だるま市と高遠ばやし

◎だるま市:2月11日◎燈籠祭り:宵祭り9月22日・本祭り23日(秋分の日)・伊那市高遠町

「高遠ばやし」伊那市無形民俗文化財

高遠囃子にはつづみがでる。背負い太鼓の向かい合い叩きがみられる。風流太鼓の古い形である。ほうずき提灯が飾られるのは灯籠風流といって七夕風流に多くみられる。

## 11.数珠回し

◎笠原:春の彼岸(3月20日頃)・伊那市美篤笠原 山梨薬師堂

◎手良:春の彼岸(3月20日頃)、秋の彼岸(9月23日頃)・伊那市手良中坪米垣外 清水寺

笠原薬師堂はナムナムの繰り返しであるが百万編の念仏である。清水寺は十三仏の唱えて数珠をまわしていた。

## 12.山寺やきもち踊り

**4月第3日曜日**・伊那市山寺 白山社八幡社合殿・長野県選択無形民俗文化財

伊勢講の行事であるがトウヤ祭祀になっていて、伊那では珍しい。

## 13.笠原の獅子舞

**4月29日**・伊那市美篤笠原

諏訪信仰の御射山神社の祭り。獅子舞は一人立ちの伊勢大神楽系である。伊勢大神楽の引き社(やしろ)がある。

## 14.中尾歌舞伎

**4月29日**・伊那市長谷中尾・伊那市無形民俗文化財

長谷地区中尾の地歌舞伎。明和4年(1767)から伝わる。映像は「絵本太功記十段目尼ヶ崎の段」

## 15.津島神社の祇園祭

**7月第3土曜日**・宮田村・宮田村無形民俗文化財

神輿をこわすのは他の祇園祭りにもみられる。

## 16.箕輪南宮神社の鹿頭しし踊り

**7月第3日曜日**・箕輪町木下・箕輪町無形民俗文化財

諏訪神社系の祭りに鹿を備えたことに由来する。鹿踊りは動物風流と見られる。拝所拝所で輪になってまわる。太鼓は背負い太鼓で、バチ叩きがいる向かい会い叩きである。向かい合い叩きは絞め太鼓が多いが、ここでは鉦打ち太鼓で横打ちである。

## 17.六道のお祭り

◎六道のお祭り:8月6日
◎新盆:8月13日・14日・15日・伊那市美篤 六道の森

森を祖霊のいるところとする森神信仰とみられる、六道の地藏堂より松をもってきて、盆棚に供えご先祖様が来たとする。森神は若狭のニソの森や種子島の伽藍様に例をみる。

## 18.さんよりこより

**8月7日**・伊那市美篤 上・下川手 天伯社・伊那市無形民俗文化財

太鼓を中にして輪になってまわりながら移動する典型的な風流である。太鼓打ちがしゃがみ、笹をもってまわるのは三河の念仏踊り（東栄町足込や豊根村大沢）にみられる。「さんよりこより」は「さあやれこうやれ」の送りの囃し言葉とみられる。笹に飾りをつけるのは七夕風流に共通する。笹で叩くのは沖縄のシヌグや鹿児島の子十五夜踊りに見られ、払いの意味をもつとされる。ここでも鬼を払うとなっている。

## 19.盆棚作りと新盆

◎盆棚作り:8月13日
◎新盆:8月13、14、15日・伊那市美篤芦沢

13日の盆棚づくり、新盆には六道の地藏堂より松の枝をもってきて、盆棚に供え、ご先祖様が来たとする。

## 20.お盆迎えと盆正月

**8月13～17日**・南箕輪村田畑

振り万灯は伊那谷一帯にある。盗みの習俗は8月15日の月見に子供が団子やイモの供え物を盗むのに共通している。